

CEM news

Church Education Ministries

変わってはならないもの。変わっていくべきもの。

「私はすべてのことを、福音のためにしています。それは、私も福音の恵みをとともに受ける者となるためなのです」(第1コリント9・23)

千里キリスト教会 牧師 徳本 篤

私たちは、昨年秋から高校科教案の編集作業を進めています。現在もその土台作りの段階で苦闘しています。他人が据えた土台の上に家を建てるのをやめて、自分たちの必要を満たす家を建てるために、新しい土台作りから取り組むことにしたからです。とはいえ、新しいということは、未知のものに挑戦することを意味します。進む方向を見失えば自分がどこに行くのかわからなくなります。そこで重要なことは、変わってはならないものと、変わっていくべきものについて、客観的にバランスよく評価できる視力です。

パウロは、ユダヤ人への伝道のためにはユダヤ人のようになり、律法を持たない人への伝道のためには律法を持たない人のようになりました。その人々をキリストのうちに獲得し、福音の恵みをとともに受ける者となるためです。

ユダヤ人の必要は異邦人のそれとは違っていました。だから同じ方法や接し方に固執することはどちらかに不満足が生じます。アメリカの高校生のために出版された教案を翻訳して日本の高校生たちに使用することに不満足が生じたのは同じ理由によることです。だからと言って、パウロはそれぞれに別の福音を伝えたわけではありません。福音は決して変わることはないものです。ただ、相手の必要に応じて、その人々への接し方や、アプローチの方法が変えることです。

この問題は日本の高校生とアメリカの高校生との違いについてもみることができます。福音の

革靴を足に履いて、自分が置かれた環境の中でそれにふさわしく生きるよう養育することが教会教育の最終的な目的ですが、革靴を履いたことのない人には、まず靴紐の結び方や革靴の正しい扱い方から教えなければなりません。しかし、幼い頃から革靴になじむ環境で育った人にはその必要がありません。その人は健全な姿勢や正しい歩き方を知る必要があります。アメリカの高校生向けの教案は、聖書の原則にふさわしい自分の生き方を洞察して適用することに重点が置かれています。しかし、初めて革靴を見るような日本人の高校生に同じような提案や指導をするのは難しい面があります。まず革靴に興味を持たせ、その履き方のコツをつかむ(聖書の読み方がわかる)ことが大事です。もちろん熟練した生徒にはアメリカの高校生と同じレベルでの接し方や、アプローチの方法も可能です。どんな場合でも相手の必要に応じた接し方が基本でなければなりません。

私が危惧するのは、生徒の必要に応えることに(賛美・祈り・交わり・行事など)重点が置かれて福音の革靴を履かせることが軽視されることです。パウロの目的はユダヤ人のようになることでも、異邦人のようになることでもありません。それはあくまで伝道の手段であり、接し方の問題です。ユダヤ人も異邦人も、福音の恵みをとともに受ける者になることが彼の最終的な目的です。これはどんな時代であっても決して変わってはならないものです。



教会教育推進会

〒563-0038 大阪府池田市荘園2丁目1番12号
電話FAX 072-762-3299 振替 大阪00950-3-796



お知らせ



- ☆ CEMテキストの利用例
- ☆ 幼稚科視聴覚教材の価格改定について
- ☆ 高校科教案編集中
- ☆ email アドレスについて
- ☆ ホームページURL について



☆ CEMテキストの利用例 一星田チャペル

星田チャペルでは、幼稚科、小学下級科、小学中級科、小学上級科、中高生科の5クラスで17名の子どもが学んでいます。ほとんどがクリスチャンホームの子どもです。牧師室を開放してもらったり、礼拝堂をカーテンで仕切ったりして、各クラスの教室を確保しています。教師は、中高生科は2名ですが、その他のクラスはそれぞれ1名で、合計6名の教師で活動しています。各クラスの教師に、テキストに対する意見などを書いてもらいました。

・幼稚科 「聖書の真理」、「目標」、「教師へ」、「準備」は、教師自身の準備の助けとなっています。「暗証聖句」は、字の読めない子どもには工夫のいるところです。「お話の前に」の活動は、動機づけのヒントとなり、「お話の後で」は、活動を通しての復習の工夫ができます。「聖書の話」は、子どもたちにわかるように、聖書の真理を正しく伝えることが求められているので教師に一番の工夫の求められるところです。聖画は良い視聴覚教材となっています。また、毎回、子どもたちが自分で作る工作や、めりえ、ゲームなどがあり、復習が楽しくできます。「礼拝のお話」は子どもの状況に応じて適用する助けとなっています。

・小学下級科 課題の量が下級生にちょうどで楽しく学んでいます。迷路、色塗りなど違う楽しみがあり、子供も飽きずに取り組めています。生活への適応も身近で良いと思います。

・小学中級科 聖書のマーク、顔のマーク、くつのマークに沿って、発見→考察→生活への適用へと自然に導いて行くことができるので、とても使いやすいと思います。聖書のお話を理解するだけでなく、自分と関連付けて、毎日の生活を振り返ること、また神さまを身近に感じることができるよう心掛けています。

・小学上級科 毎週の学びは、その日の聖書箇所を輪読することから始めています。進級時にはまったくど

こにその聖書箇所があるのか分からない子どもも、徐々に旧約、新約の違いなどを理解して、開くことができるようになってきます。輪読後は、テキストに沿って学びを進めていきますが、後の質問に回答しやすくなるように輪読した聖書箇所を教師が口頭で補足説明を行います。その際には、教師用テキストの「目標」、「教師へ」を意識して、説明をするように心掛けています。「適用」は子どもたちは模範解答を記載しますが、本当にそうなのかということ問い掛けるようにしています。ただ、その日に学んだ聖書箇所と適用の結び付けに、若干無理があるなあと感じたり、適用の事例が古いなあと感じることがあり、その点はテキストの改訂があればよいと思います。また、テキストの価格が高いことは、難点です。

・中高生科 単元毎に新約、旧約がバランス良くまとめられているのは良いと思います。「聖書の真理」、「授業目標」、「教師へ」を参考に準備し、生徒にその時の主題が伝わるように心がけています。「グループタイム」での導入、「授業の開始」「真理の発見」は聖書から進めていけますが、「応答」で、生徒に当てはめて伝えていくのが難しいところなので、より詳しく書いていただくと有難いです。

☆ 幼稚科視聴覚教材の価格改定について

幼稚科視聴覚教材の「聖画」全シリーズの価格を2000円といたします。引き続きご利用ください。

☆ 高校科教案編集中

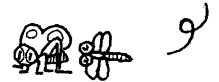
高校科教案の新シリーズを現在編集中です。一からの編集作業が、主に導かれるようお祈りをお願いします。



☆ email アドレスについて

ご注文やその他ご連絡にemailもご利用下さい。emailアドレスは次の通りです。

cemoffice@cem-japan.com



☆ ホームページアドレスについて

ホームページのURLは以下に記載の通りです。
<http://www.cem-japan.com>



尊い献金を心から感謝申し上げます。

2010年3月～2010年8月末

◇献金いただいた教会名(敬称略)

尼崎キリスト教会 石橋キリスト教会および教会学校
大阪セントラルグレースチャペル 泉北キリスト教会
総持寺キリスト教会 土山キリスト教会 枚方キリス

ト教会 平野キリスト教会 武庫川キリスト教会

以上9教会



※CEM献金をよろしくお祈りします。ご連絡いただければ郵便振り込み用紙をお送りいたします。